

EMC

技術者教育

実践編

2026年

2月4日(水)

時間

9:40～16:35

会場

名古屋市工業研究所
管理棟4階 第2会議室

講演1

「(1)HEMPが車載機器に与える影響の基礎検討」
「(2)150kW級のBEV充電時におけるEMC試験の検討」

トヨタ自動車 株式会社 森 晃 氏

講演2

「航空機のEMCと導電纖維製移動壁型のリバブレーションチャンバ」

川崎重工業 株式会社 原 誠 氏

講演3

「弊社におけるEMC品質向上の取り組み」

株式会社 デンソーテン 原田 未貴 氏

講演4

「装置設計段階でのEMI対策とESD電流の振る舞い」

NECソリューションイノベータ 株式会社 矢口 貴宏 氏

企業
プレゼン

『KECのEMC試験のご紹介』

一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター

『テュフラインランドジャパンのUN-R10、AIS 004認可取得サービス』

テュフラインランドジャパン 株式会社

『「カタログと違う」を解消！星和の“後付け”EMCコアがSPICEで登場』

星和電機 株式会社

講演形式 ハイブリッド(対面・オンライン<ZOOM>)

募集人数 対面：30名 / オンライン：60名

受講料 会員：6,600円 / 非会員：13,200円 (消費税込み)

※ 会員=中部エレクトロニクス振興会

申込期限 2026年1月28日(水)



❖ 講演スケジュール

※講演者が変更になる場合があります。

開会あいさつ 9:40～9:45

講演 1 9:45～10:55

(1)HEMPが車載機器に与える影響の基礎検討
(2)150kW級のBEV充電時におけるEMC試験の検討

トヨタ自動車株式会社 電子性能開発部 電子性能開発室 主幹 森 晃氏

CASE(Connected、Autonomous、Shared、Electric)と呼ばれる新しい領域で技術革新が進む中、自動車のEMCを取り巻く環境は大きく変化しています。その中で我々が検討を進めている2つのテーマ「HEMP(High-altitude Electro-Magnetic Pulse)が車載機器に与える影響」と「150kW級のBEV(Battery Electric Vehicle)充電時におけるEMC試験」の検討内容に関して、実際の試験結果を交えて報告します。

企業プレゼン① 10:55～11:10

KECのEMC試験のご紹介

一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター

国内最大級の大型電波暗室やリバブレーションチャンバーなど豊富な試験設備を紹介。交流360kVA、直流1500V、80kWまで供給可能、パワーエレ応用機器や各自動車メーカー規格など幅広く対応しています。

講演 2 11:20～12:30

航空機のEMCと導電纖維製移動壁型のリバブレーションチャンバー

川崎重工業株式会社 電装システム技術部 電磁波システム技術課 基幹職 原 誠氏

航空機のEMCについて、機器／システム／機体レベルの主要規格と開発プロセスを踏まえて概説します。さらに、近年注目を集めるEMC試験法であるリバブレーションチャンバーの中でも、シールドテントを応用した移動壁型の電波反射箱(VIRC: Vibrating Intrinsic Reverberation Chamber)に焦点を当て、その基本原理、設計法、応用に関する最新の知見を共有します。

講演 3 13:30～14:40

弊社におけるEMC品質向上の取り組み

株式会社 デンソーテン 品質技術推進本部 技術管理部 基盤技術室 EMC技術第1課 原田 未貴氏

車載用電子機器は、マルチメディア製品やパワートレイン製品など種別が多くなっています。また、これらの電子機器は様々な環境で使用され、EMC品質が厳しく要求されています。この厳しい要求を満足するため、弊社では技術開発や設計支援、CAEツール活用などの様々なEMC設計品質向上活動を行ってきました。今回はその取り組みを紹介します。

企業プレゼン② 14:40～14:55

テュフラインランドジャパンのUN-R10、AIS 004認可取得サービス

テュフラインランドジャパン株式会社

テュフラインランドジャパンは、UN-R10およびインドAIS 004認可取得を迅速かつ効率的に支援し、豊富な専門知識とグローバルネットワークを活用して、信頼性の高いサービスを提供します。

企業プレゼン③ 14:55～15:10

「カタログと違う」を解消！星和の“後付け”EMCコアがSPICEで登場

星和電機株式会社

直流重畠にも対応した、SPICEモデルをHPで無料公開中。シミュレーションによる実機搭載時の効果検証にご活用ください。「星和 SPICE」で今すぐ検索！

講演 4 15:20～16:30

装置設計段階でのEMI対策とESD電流の振る舞い

NECソリューションイノベータ株式会社 ビジネス基盤統括部 シニアプロフェッショナル 矢口 貴宏氏

装置開発の終盤でトラブルが発生することの多いEMIとESD。残された時間が少ない中、対策には時間も手間も多くかかっています。そこで今回は設計段階でトラブル回避するためのEMIとESDの両方を考慮したポイントを、実験やシミュレーションの結果を交えてご説明します。

閉会 16:30～16:35